

つきたい力

- ・情報活用能力（情報の収集、読み取り、引用、要約、取捨選択、整理・分析、報告、発表など）
- ・読書習慣

取組みの概要・ポイント

- ・国語科を中心に図書を活用しながら「情報活用スキル」を積み上げ、他教科でくり返し習熟させていく。
- ・情報活用スキルアップを支えるため、学校図書館とICT両面の環境整備を進める。
- ・本に親しむ機会を計画的に設け、読書習慣の定着をはかる。

具体的な取組みの内容

学校図書館を活用した授業づくり

①情報活用スキルアップの授業 国語 → 他教科

国語科を中心に身につけたスキルを他教科でもくり返し活用し、習熟をめざす。

6年生 国語科「防災ポスターを作ろう」

- 資料を集め、伝えたい内容に合ったものを選ぶ。
- キャッチコピーや見出しを工夫して、読み手の興味を引く。
- 図表やグラフを使い、効果的に伝える。

6年生 総合的な学習の時間「魅力発信！岸和田アピールGP!!」

- パンフレットに載せる情報を集め、取捨選択する。
- キャッチコピーや図表を工夫し、効果的に伝える。

②学校図書館・ICT両面の環境整備

電子書籍の活用

電子書籍サブスクリプションサービスを利用し、いつでもどこでも読書をしたり本で調べたりできるように。
一斉指導で全員が同じ本を同時に活用できる。

インターネットの活用

インターネット検索、情報の見極め方、著作権などを指導。
インターネット・パスファインダー（おススメのHP一覧）を用意し、効率的に情報収集ができるように。

情報カードの電子化

タブレットPCで使える情報カードを用意したことで、タイピングが得意な児童はデータとして蓄積していくことができる。

具体的な取組み等



本に親しむ場づくり

①本の世界を広げる ～味見読書～

絵本や同じ本を繰り返し読む様子

➡「味見読書」でいろいろな本に触れる機会を。

- 【流れ】
- ①人数分の本を用意
 - ②2分間読み進める
 - ③そこまでの感触を☆いくつで記録
 - ④本を交換し、くり返す。



②家庭読書の習慣を ～うちどくWEEK～

家庭での読書時間が伸び悩む

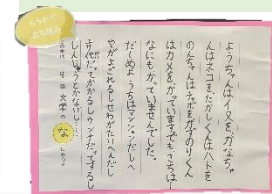
➡「うちどくWEEK」で家庭読書を意識づけ。

「家族と一緒に本を読む良いきっかけとなった。」という保護者コメントも。

③学校図書館に行きたくなるしかけ ～図書館イベント～

- 本を1冊借りれば、七夕の短冊や玉入れシールがもらえる。

- 廊下に本の書き出しのみを掲示し、続きを図書館に読みに行く。



市のHPでも紹介



取組みを通しての子どもの変容

- ・学校図書館を活用した学びがしっかりと定着してきており、子どもたちが自分で必要な情報を集める力、目的意識をもって情報を選択する力、発信する力が身についてきた。どの教科でも調べ学習などがスムーズに進むようになっている。
- ・うちどくWEEKに取り組むことで、家で弟・妹に読み聞かせをしたり、家族と一緒に読書を楽しんだり、家庭読書のきっかけをつくることのできた。

	R3	R4	R5
学校図書館での学習や、本や資料を使って調べることは楽しい	70%	77%	81%